



大阪プロバスクラブ

会報 第365号

2021年11月8日発行

Monthly Bulletin of

The Probus Club of Osaka

例会会場：ホテルモントレ大阪 06-6458-7111

例会日：(原則) 毎月第2月曜日 12時より14時まで

○創立 2001(平成13)年7月9日創立記念式7月16日

○スポンサークラブ：箕面千里中央ロータリークラブ

○友好クラブ：箕面ロータリークラブ

○会長：有竹正巳 ○幹事：西宮富夫 ○事務局：(幹事宅)

〒563-0022 池田市旭丘2-6-25 Tel: 090-7496-5096

○会報担当：西宮富夫 pxi06603@nifty.com

○会報ホームページ：<http://osakapurob.exblog.jp/>

○全日本プロバス協議会：<https://www.all-japan-probus.com/>

会長：古賀靖子(北九州)、副会長：川端崇且(大阪)、島村吉三久(五所川原)、馬場康博(旭川)、田中信昭(東京八王子)、幹事長：松本 忠(北九州)

○日本のプロバスクラブ・関西 Blog 版

<http://probuscent.exblog.jp/>

9月中旬から10月中旬まで1か月間の更新分(順不同)

クラブ	会報	記事一部
旭川	会報 第195号	9月FAX例会(ウッドショックで気持ちもショック佐藤譲会員、他)
鈴鹿西	会報 第251号、 第252号	251号：カルチャー地域交流委員会他、 252号：寄稿「この頃考える平等ということについて」河原清、他
赤穂	会報 第42号	6月例会「私の県職員時代の思い出」榊務会員、花だよりフォト欄、他
神戸北	10月例会 のご案内	ポートタワーリニューアル計画(2023年リニューアルオープンとのこと)他
東京八王子	プロバス だより 第310号	8月12日310回例会中止、寄稿「縄文土器のかけら」池田ときえ会員、にっぽんの芸能 能の世界(M.U)他
大阪	会報 第363号	卓話「老いを楽しむ心のゆとり」松岡茂雄会員、他

今回 第366回 通常例会 2021年11月8日(月)

会場：ホテルモントレ大阪 12:00~14:00

●大阪プロバスの歌(作詞：渡辺 孟 補詩：田村徳郎)

- ① プロバスクラブへ集まろう 気の合う仲間とお昼時
元気に歌おう会の歌 第二の人生また楽し
- ② プロバスクラブに集まって 優しく気軽に話そうよ
見せたい自慢の得意技 遊びのプランもまた楽し
- ③ プロバスクラブに集まれば 高まる奉仕の心意気
世界に広がる和の願い 明日も愉快地に生き抜こ

●小さい秋見つけた

(作詞：サトウハチロー作曲、作曲：中田喜直)

誰かさんが誰かさんが誰かさんが みつけた

ちいさい秋ちいさい秋ちいさい秋 みつけた

めかくし鬼さん手のなる方へ

すましたお耳にかすかにしみた

よんでる口笛 もずの声

ちいさい秋ちいさい秋ちいさい秋 みつけた、

前回 第365回 創立20周年記念例会

2021年10月11日(月)

会場：ホテルモントレ大阪 11:00~14:00

◎第365回20周年記念例会

○司会進行：野村尚子会員

○ソング：吉川栄子会員 ●紅葉(もみじ)

○お客様紹介

箕面千里中央ロータリークラブ

会長上野弘之、幹事植田豊寛、藤井稔夫

社会福祉法人日本ライトハウス盲導犬訓練所

所長代理・主幹 赤川芳子

元会員

川土居長慶、増田昭典、坂口三身、鞆安恵美、楊令子、

上野昭代、山村紗智子、川村恵子、松本俊幸

○有竹正巳会長挨拶

爽やかな秋を迎えています。何かとご多忙のところ我がプロバスクラブ20周年記念例会にご参加いただき心より御礼を申し上げます。私は今期より吉田様より会長職を受けました有竹と申します。不勉強で至らぬ人間ですが今後共ご指導を心よりよろしくお願い申し上げます。この会の20年間を支えて下さった会員の皆様のご期待を裏切らないよう一杯努力致します。

この7月着任致しましたがコロナの影響で何も具体的な成果もなく会員の皆様には大変ご迷惑をおかけし申し訳なく思っております。大阪府においても9月30日より緊急事態宣言が解除されましたが感染者が東京を上回る傾向が続きまだまだ気を緩めることは出来ない状況と考えます。

今月末までは会食も1グループ4人までと求めています。本来なら折角お集まりいただいたのに音楽と共にぎやかになら思いました。社会情勢にて規模を小さくと心がけました。お許し願います。「勉学の秋」「芸術の秋」「実りの秋」「スポーツの秋」、今年はコロナと共生が望まれる秋となるでしょう。

最後になりましたが本日ご出席の皆様のご健康とご多幸を祈念しご挨拶と致します。

以上

○誕生月会員：(左から)10月中井良美会員、10月蒲生惇子会員、有竹正巳会長



○出席報告：出席委員長中井良美会員より、会員16名、ゲスト13名、計29名出席との報告あり。



大阪プロバスクラブ20周年記念例会 ホテルモントレ大阪

(2021年10月11日)

〇OH-BOX 宮田鐵夫委員長より9名 28,000円との報告があった。(以下順不同)

★有竹正巳会員：創立20周年お祝い申し上げます。皆様のご出席に感謝申し上げます。

★山村紗智子元会員：おめでとうございます。みんな二十才若かったのですね。各々の人生に乾杯！

★西田隆昭会員：祝20周年記念例会

★宮田鐵夫会員：20周年を記念して！

★西宮富夫会員：全日本プロバスのニュース第7号を回覧させていただきます。

★浅山紀久子会員：祝20周年、おめでとう御座います。今後共よろしくお願い致します。

★山下恵司会員：コメントなし

★野村尚子会員：コメントなし

★藤井稔夫元会員：コメントなし

◎卓話：「盲導犬」赤川芳子氏

(社会福祉法人日本ライトハウス盲導犬訓練所)

★盲導犬は視覚障害者が使う白杖と同じ役割

視覚障害者は皆さんが全盲ではなく、少し見える方がたくさんいます。白杖を持っていたり、盲導犬を利用している、スマホを利用する方々もおられます。

視覚障害者が使う白い杖では、道なり、角、段差、障害物を見つけて回避することができます。盲導犬は、角で止まる、段差で止まる、障害物を避けることで、白杖で歩くのと同じような働きをします。

ですが、信号は分かりませんのでどうか、皆さん白い杖を持った人や盲導犬を連れている人が、信号で待っていたら信号の色を教えてあげてください。

★盲導犬はどのように作られるか

盲導犬を作るにはまず盲導犬にしたときに都合の良い性格の父犬、母犬を選びます。子犬は産まれると兄弟たちと毎日喧嘩しながら大きくなります。母犬に叱られたり、何度も噛んだり噛まれたりを繰り返して、犬同士のコミュニケーションを学びます。

生後2か月ほどになると一般の家庭で1頭ずつ1歳(大人)になるまで育てていただき、躰をしたり、経験を積みさせたりしますが、一番大切なのはかわいがることです。そうすると、人と一緒にいるのが大好きな犬になります。1歳になると訓練所に。

訓練は簡単なことから少しずつほめて伸ばす方法をとっています。頑張って訓練しますが、盲導犬になるのは3割から4割です。ならない犬がダメな犬という事ではなく、向かなかっただけです。

盲導犬になった犬は、10年程働き、その後引退を迎えます。引退した犬たちは引退犬の面倒を見てくれるボランティアに引き取られ、利用者はまた新しい犬を持ちます。

★盲導犬育成費用について

盲導犬になる1頭の犬には、ならなかった犬たち、母犬、父犬、職員のお給料なども入れると、1頭当たり良いクラスの新車1台分ほどの金額がかかります。盲導犬育成は皆様の寄付で成り立っておりますので、ちょっと良いことがあったときなど、是非そのおすそ分けをよろしく願いいたします。

盲導犬にならなかった犬達は一般の家庭にペットとして引き取って頂くのが殆どですが、中には介助犬になる犬もいます。

以上



(赤川芳子氏と盲導犬ロミー)

○寄付に対し、感謝状をいただきました。



(会報担当より：盲導犬事業は寄付や募金で運営しています。ご支援の程よろしくお願ひします。【日本ライトハウス盲導犬訓練所】で検索できます。)

◎食事タイム

○乾杯 箕面千里中央ロータリークラブ 会長上野弘之
○20周年記念例会実行委員会川端崇且委員長挨拶
本日は、大阪プロバスクラブ 20周年記念例会にご参加頂きありがとうございます。当クラブは、箕面千里中央ロータリークラブがスポンサークラブとなり、2001年7月にホテルグランヴィア大阪で創立例会を41名の会員でスタートして、一時期は63名の会員数の時もあり「楽しくなければプロバスクラブでない」を実行し20周年になりました。

この度はコロナ禍の中で記念例会を行うかの判断に実行委員会として苦慮致しました。10周年記念の時は遠くの旭川プロバスクラブや近隣プロバスクラブの会員がお祝いに来て下さり華やかな祝賀会でありましたが、実は緊急事態宣言が解かれればおいしいワインを準備しておりましたが、ホテル側の事情があり、参加者の方々には誠に申し訳ないですが記念例会と食事会となりました。

クラブで少額の蓄財を社会福祉法人日本ライトハウス様に支援金として支給させて頂き、高齢者の集いで、ささやかな社会奉仕に貢献できる喜びを会員一同で分かち合

える例会を出来ればと願っています。

大阪プロバスクラブは 明日から30周年を目指して進んで行かねばなりません。本日お集りのスポンサークラブ箕面千里中央ロータリークラブ様、元会員の皆様のご支援を頂きながら、人生経験豊かで元気な人の集い大阪プロバスクラブがより一層栄えるように進めてまいります。本日はありがとうございました。

感染防止認証

ゴールドステッカー

- ・アクリル板等
- ・手指消毒
- ・食事中以外のマスク
- ・換気、CO2センサー
- ・会食1組4人まで、他



◎20年間在籍会員へ記念品贈呈

左より吉田州伸会員、西田隆昭会員、小林惇三会員、別所泰会員、右端は有竹会長 (4名より一言ご挨拶あり)



◎大阪プロバスクラブ 20年の思い出

元会員 川土居長慶

今日、有竹会長様の下、20周年記念例会をお迎えにされました事、大変嬉しく、心よりお祝い申し上げます。コロナ禍の時期なりに実行委員長様・運営委員会の皆様のご苦労をお察し申し上げます。

そして開催のご通知を頂きました。有難うございました。嘗て、4代目の会長を任命されました。どちらかという箕面、池田、石橋の主流の皆様の中に甲子園村から参りました者への会長指名に驚きました。何とかして2年間、48回の例会を無事に終へる事ができました。

当時は50人近い会員でにぎわっておりました。月に2回の例会でしたが、例会の間にも集ろうとの要望で1か月に3回集まることもありました。故中村会長が「例会費を高くしないように」との事で大変な貧乏クラブでしたが、贅沢御免で会員の皆様が集まることを楽しんだものです。皆様のご理解、ご協力があったの事。今更ですが有難うございました。そのような頃の事です。

今日お見えの楊さんには44、5人の花見弁当を手づくりしていただき、みんなで運んで公園のベンチで頂いたこと、今も忘れえない楽しい花見の記憶です。クルマエビもはいていましたっけ。かといって先輩のご紹介で、京都の料亭にもまいいっておりますが。



そして、20周年のいま、素晴らしく発展されたクラブの姿に感激です。歴代会長様、理事会のご苦勞あつての事と存じ上げます。盲導犬協会への寄付は、小生のロータリー時代からの要望でもありましたから大変感動をいたしました。

元会員の方から、18年も在籍されたのに、自分自身の事を話していないと申されました。失礼を致しておりました。退会後に自己紹介っておかしなことですが、多分、古い会員の方々も初めてお聞きになることと思います。皆様が経験されたことのない経験の話を含めて簡単に話させていただきます。

生まれ、育ちとも大阪の南東、東住吉です。戦時中も、です。幼児の頃から身体が弱くて近所の子供と遊ばないので幼稚園に。その時から小学校、中学を大阪市内で。その後神戸までの通学、そして、通勤にとずうっと電車が足になって、乗り続けてきました。学校はすべて旧制です。

割合、空想家でしたから友達と一緒にいないときは自分の世界を作ることができました。何とか合格をしていた経済学部への入学手続きをポケット入れたまま工学系の合格発表を待ちました。憧れた建築科にはいりました。

卒業後ちょっと名のある建築事務所に入り、そして、6年後自立。周囲が支援してくれました。先輩の新井組、須田鋼材、友人が社長だった内田洋行、そして日立殿、川西系からの仕事で潤いました。新大阪駅での東宝ビル完成直後のオイルショックの折には三菱殿が川土居を探し出してくださり直ぐ外注先に指定となり、周囲の方々の支援があって、不況時でも安定して設計を致して参りました。色々なことの中で皆様には経験できないこと、2つ、記します。

1. 機関銃にねらわれたこと。

衛星通信基地の施設の設計の終わった頃にクーデターがあって、若い民兵が拳銃を振りかざしていたクーデター直後のエチオピアでのことです。基地の建設はそのまま進められていました。呼ばれてビザのないまま共産圏エチオピアに出国。移民局長との直接の面接で許可されて基地の現地へ行く時の事でした。

機関銃で危うくやられるところでした。蜂の巣になる場所でした。頭から血の引くのが判りました。現地の役人の手違いがもとでした。エッチャン(チオピア)ではいろいろな事がありました。

2. 憲兵に連行された事。

特高警察なら通じましようか。憲兵は戦時中の恐ろしい機関でした。終戦に近い頃に協力せよと生徒が工場へ動員さ

れました。戦地では休みなしとの事で、「月月火水木金金」と休みなく工場に行くことになり生徒には不満がたまるばかりです。動員されて4、50日程しての工場の定時後に4、5人が集まって皆で休もうとストライキの決断をしました。翌日から無断のまま実行。

ストライキから暫らくしての夕焼けの美しい日、今里駅で憲兵に捕まりました。電車待ちの人の中をプラットホームの端っこだまで連れていくのです。覚悟はしましたが大変恐ろしい長い時間でした。本当は憲兵も戸惑っていたのではないかと思います。ホームの人々の目がある中、捕まえて見たら、中学3年の少年で、然も最もおとなしく、ものを一言も喋らない少年でしたから殴ることもできず。一時間ほどの説教で終わりました。クラスメイトに話す程でなく。なぜ、私一人だけが引っ張られたのか、不思議なことです。

長時間の身辺調査の後、口外しないほうが良い企画や計画、建築設計を致して参りました。変わったものでは、迷子になった隼を捕まえた深宇宙探索施設の建築系、スパイ衛星からの電波をよそに取られない特殊な施工法の建築などの設計。国際的に有名になった望遠鏡の最初の全体計画。2000年記念事業でのアイデアの提案、など。中には内閣総理大臣賞を頂いたものもあります。もち論、先ほどのエッチャンなどの日本国内、外の衛星通信基地の施設の計画、設計もいたしました。特別高圧の受変電の建築の設計は大型産業界の多くで設計しました。

(例)

- ・日本国内、国外衛星通信基地設計
- ・種子島、H-2 ロケットの検査用施設実施計画書作成
- ・ハワイ、研究施設、望遠鏡全体の計画
- ・赤道直下、レーダ基地計画
- ・スパイ衛星対応特殊な内装建築設計の監査、施工指導
- ・国際天文台ベラ計画指導
- ・深宇宙、探索基地計画、設計
- ・大阪地下変電所設計と指導
- ・超特別高圧受変電設備の施設設計
- ・口にさせない企画
- ・戸建の長期優良住宅設計等々。

国などの制約でお話できなかった私自身の事、紹介させて頂きました。ありがとうございました。

以上



川土居長慶氏

(会報担当より：最後に、山下恵司副会長より閉会の挨拶があり、解散。参加者からはコロナ禍でよく集まった、静かな記念例会だった、などの感想があった。)

次回 第367回 Xmas 例会 2021年12月20日(月)
会場：ホテルモントレ大阪 16:30~19:30